

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-248	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論 I ・ 710	EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、日常的な話題、社会的な話題について、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばすこと、また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが可能となるよう留意した。

1. 題材は、学習者に親しみやすく、かつ学習者の生きる力を育成する内容豊かなものを採用した。
2. 言語材料に関しては、中学校との連携を考慮して基本事項の定着を重視するとともに、その基礎を活用して論理的な英語表現の能力を伸ばすことが可能となるよう選定した。
3. 「書く」「話す」の生産的2技能を中心に育成する目的において、「読む」「聞く」の受容的2技能とも有機的に関連させる演習を随所に設け、学習者が幅広い言語活動に取り組むことができ、かつ積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が多様な知識と教養を身につけ、積極的に社会の形成に参画し、自他国の伝統・文化を尊重しつつ国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し Classroom English	教室で用いる基礎的な英語表現を身につけさせる。(第1号)	前見返し I ・ II
	相互の意見や関係性を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)	写真全般
	平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)	
後見返し English Directions in This Textbook Sustainable Development Goals一覧	本課の問題の指示文を取り上げ、説明を付した。(第1号)	後見返し III ・ IV
はじめに	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	4~7ページ
	日本語と英語の表現形式の差異を通じて、双方の持つ言語的な文化への理解を深める。(第5号)	

Lesson 1～15	<p>英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)</p> <p>自己表現活動を通じて、創造性・自主性を養う。(第2号)</p> <p>平等意識や公平の観念を養うため、男女・人種などにおいて、偏りが生じないように配慮した。(第3号)</p> <p>言語の働き(機能)を念頭におき、様々な場面で相手の存在を意識して、より効果的なコミュニケーションを図る力を培う。(第1号)</p> <p>自律性を養い、職業などを意識させる題材を採用した。(第2号)</p> <p>他者と協力することの重要性や社会への参画を意識させる題材を採用した。(第3号)</p> <p>環境に優しい町の取り組みや資源の節約を主題にした教材により、環境保全に寄与する姿勢を養う。(第4号)</p> <p>日本と他国を比較することで、その文化などに対する理解や互いを尊重する態度を養う。(第5号)</p>	<p>9～98ページ</p> <p>Task 2 (11, 13ページほか)</p> <p>Goal (11, 13ページほか)</p> <p>What do you think? (14ページほか)</p> <p>写真・イラスト全般</p> <p>9～98ページ</p> <p>45～50ページ 93～98ページ</p> <p>45～50ページ</p> <p>57～62ページ</p> <p>87～92ページ</p>
パラグラフ・ライティングの基本	英語のパラグラフ構成・論理展開に関する基本的な知識を習得する。(第1号)	99～100ページ
ディベートの進め方	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	101ページ
ディスカッションの進め方	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	102ページ
Expressions Plus	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	103～117ページ
Useful Expressions	英語で表現するための基本的かつ幅広い知識を確実に身に付ける。(第1号)	118～126ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の能力を段階的に伸ばす構成

1. トピック別の章立てで、目的や場面に応じたさまざまな表現を身につけて、「話す」「書く」という表現活動につなげることができる構成になっています。
2. 「話す」活動を中心とした“Let’s speak about...”を見開きの2ページで、「書く」活動を中心とした“Let’s write about...”を2ページで扱い、それぞれに設定している目標(Goal)に向かって段階的に力をつけることのできる構成になっています。

B. 課末では自分の意見を述べる活動へと展開

課末の What do you think?では、論題に対して自分の考えを述べる活動を行うことができます。ディスカッションやディベートにつながる活動です。

C. パラグラフ・ライティングやディベート・ディスカッションなどの解説

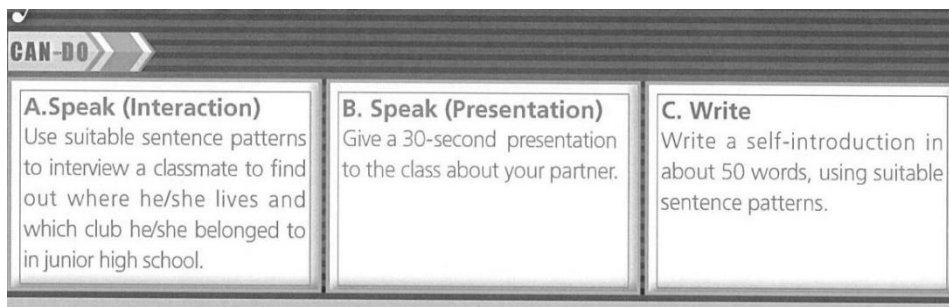
論理的なパラグラフの構成や、ディベート・ディスカッションの進め方など、比較的高度な言語活動についてもわかりやすい解説のページを設けています。

II. 各課の構成

A. 正課：表現の習得・練習と自己表現活動がバランスよくできる内容としました。

1. 導入ページ

- a) 各課で学んで達成する目標を3領域に分けて提示しています。



- b) トピックに関連した写真描写などのリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動を行います。

2. Let’s speak about... (「話す」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：写真やグラフ、表など情報を含む素材と、各課のトピックに関連する会話文を掲載しています。会話文に出てきた重要表現は、Key Expressions で取り上げています。

★ Key Expressions

- My friends sometimes give me advice. (I.9)
⇒ 「Sは(人)に(物)を～する」は〈S + V + O(人) + O(物)〉で表す。
この形を作る動詞はほかに、show (見せる), tell (話す), buy (買う), make (作る), など。
▶ My mother made me a dress. 「母は私にドレスを作ってくれた」
- My friends call me Meg. (I.7)
⇒ 「Sは一を…と呼ぶ[にする, etc.]」は、S + Vのあとに「一(を)」にあたるOと「…」にあたるCを続け、〈S + V + O + C〉で表す。〈S + V + O + C〉では〈O = C〉である。
この形を作る動詞はほかに、make(OをCにする), name(OをCと名づける), など。
▶ The news made me happy. 「そのニュースは私を喜ばせた」

See page 103 Expressions Plus

- b) 右ページ：左ページの会話文についての情報を整理する活動と、整理した情報を参考にしながら、機能表現を使って自分のことを表現する・ペアで話し合う活動、さらに話し合った内容について発表する・質問に答える活動を行うことができます。

3. Let's write about... (「書く」ことを中心にした活動)

- a) 左ページ：さまざまな形式の文章(メール, ブログ, 広告, 掲示, 投稿記事など)をモデル文として用意しました。モデル文に関する簡単な問題を設けています。モデル文に出てきた重要表現は **Key Expressions** で取り上げています。
- b) 右ページ：モデル文を参考にして, 学習した表現を用いて, 自分の考えや情報について表現します。50 語程度のまとまった文章を書く活動を行います。

4. 課末ページ (What do you think?)

各課のトピックに関する論題について自分の意見を表現する活動です。ディベートやディスカッションにつながる内容になっています。表現活動に使えるフレーズ例もあわせて掲載しています。

B. 正課以外

1. 「はじめに」のページでは, 英語の語順や品詞について簡単な解説をまとめました。
2. パラグラフ・ライティングの基本やディベート, ディスカッションの進め方についての特集ページを設けました。
3. 各課の **Key Expressions** で取り上げた重要表現に加えて, 関連する事項を例文とともに **Expressions Plus** のページでまとめました。
4. 各課のテーマに関連する語句を **Useful Expressions** としてまとめ, 表現活動に適宜使えるようなものとししました。
5. 前見返しでは, **Classroom English** として, 授業での使用が想定される基本的な英語表現をまとめました。後見返しでは, 各課の主な設問文とその意味を掲載しました。

◆教材配当表 <B5判・128ページ・4色>

課	タイトル	学習事項
	はじめに	英語の語順／品詞
1	Introduce yourself to your class 【紹介】	説明する・紹介する
2	How do you spend your weekends? 【週末の過ごし方】	時を表す（現在・過去・未来）
3	Where did you go on vacation? 【旅行】	時を表す（完了形）
4	How can I get there? 【交通】	能力・許可・義務などを表す
5	Would you like to come with me? 【課外時間】	依頼・勧誘や推量などを表す
6	Something really Japanese 【日本文化】	「～される」を表す
7	Do you do any volunteer activities? 【ボランティア活動】	「～すること」などを表す (to do)
8	Let's enjoy school life! 【学校生活】	to do/doを使って表す
9	Are you eco-friendly? 【環境問題】	「～すること」を表す (doing)
10	What sports do you like? 【スポーツ】	doing/doneを使って説明する(1)
11	That's new to me! 【知らなかったこと】	doing/doneを使って説明する(2)
12	Which Nobel Prize winner do you admire most? 【偉大な業績】	人や物について説明する (who, which)
13	I'm interested in history 【歴史的な人物・建物】	時や場所などについて説明する
14	Various countries around the world 【世界の国々】	比較を表す
15	Which job are you interested in? 【未来の自分】	仮定を表す
	パラグラフ・ライティングの基本	
	ディベートの進め方	
	ディスカッションの進め方	

*その他、授業での発話集 Classroom English [前見返し]，表現・文法のまとめ Expressions Plus [pp.103-117]，テーマ別表現のまとめ Useful Expressions を収録。

*二次元コードにより，各課の What do you think?のテーマ解説スライド，学習ポイント解説動画，補充問題・解説を参考情報として提供。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-248	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	論 I ・ 710	EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 題材は、学習者にとって身近に感じることができる日常的な話題や社会的な話題などバラエティに富んだ内容を取り揃えた。
- B. 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る態度を育成するため、問題演習の指示文は英語を用いた。また、表現活動を行いやすいように、モデルとなる会話文やパラグラフを用意し、支援を比較的多く与えた。
- C. 「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」の2技能3領域をバランスよく扱い、さまざまな活動を通じて、論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書くことを確実にできるような心がけた。
- D. 多様な観点や立場からの考えや意見を引き出すことができるような場面や状況を設定することで、学習者が主体的・自律的に授業に参加することができるよう配慮した。

II. 教科書の構成 ※教科書の概要は「編修趣意書（教育基本法との対照表）」をご参照ください。

A. 正課

1. 導入

①

②

③

- ① **CAN-DO** : 各課で達成する目標を 3 領域(「話す(やりとり)」「話す(発表)」「書く」)に分けて提示しています。
- ② **トビラ写真** : 題材への興味を喚起する写真を載せています。
- ③ **Before you start...** : 写真に関するリスニング問題と簡単な自己表現をベースとした活動で導入できます。

2. Let's speak about...

The screenshot shows a lesson page with the following components:

- 1** QR code for audio playback.
- 2** Profile cards for Ken (Tanaka Ken, Japan, Izumi-cho, Music/Soccer) and Emma (Emma Parker, U.S., Aoba-cho, Music/Anime/Hockey).
- 3** Dialogue text between Ken and Emma.
- 4** Listening Quiz with questions Q1 and Q2.
- 5** Key Expressions section with grammar explanations for phrases like 'My name is...', 'Your trumpet looks nice!', and 'I got this trumpet from my father last month'.
- 6** Task 1: A chart to fill in based on the dialogue.
- 7** Task 2: Interview questions to ask a partner.
- 8** Goal: Interaction/Presentation activity with a sample dialogue and a check list.
- 9** TRY: A final activity question: 'What is your favorite subject?'.

- ① 二次元コード：会話文と例文のリスニング，音読・発音練習を行います。
- ② 写真・資料等：各課のテーマに関連する写真や図表，地図，広告，ポスターなどさまざまな形式の素材を提示しています。
- ③ **Model Dialog**：テーマに関連する会話文を掲載しています。この会話文をモデルとして，やりとりや発表の活動につなげます。
- ④ **Listening Quiz**：会話文の内容に関する簡単なリスニングクイズです。
- ⑤ **Key Expressions**：会話文に出てくる重要表現を取り上げて簡単に解説しています。
- ⑥ **Task 1**：左ページの会話文についての情報を整理しながら重要表現も定着させます。
- ⑦ **Task 2**：Task 1 で整理した情報を参考にしながら，重要表現を使って自分のことを表現したり，ペアで話し合ったりする活動を行います。
- ⑧ **Goal**：話し合った内容について発表する活動です。また，発表した内容について質問をしたり，それに答えたりします。発表する内容の例を示して，表現活動の支援となるようにしています。また，評価するポイントとして **Check list** を掲載しています。
- ⑨ **TRY**：各課のテーマに関して自分のことを表現する活動を行います。

3. Let's write about...

The screenshot shows a lesson page with the following components:

- Task 1:** Analyze the passage. Includes a listening quiz and a model passage about Margaret Green.
- Key Expressions:**
 - My friends sometimes give me advice. (0.9)
 - My friends call me Meg. (0.7)
 - The news made me happy.
- Task 2:** Fill in the chart with your answers to the questions.

① What do your friends call you?
② What are you good at? / What do you like doing?	I
③ What club do you want to join?	I
④ Why do you want to join that club?	Because I
- Goal:** Writing. Use the above notes to write a self-introduction in about 50 words.
- TRY:** Introduce yourself to your class.

- ① **Listening Quiz** : 会話文と簡単なリスニングクイズを行います。
- ② **Model Passage** (モデル文) : メール, ブログ, 広告, 掲示, 投稿記事などさまざまな形式の文章を扱います。
- ③ **Task 1** : モデル文に関する簡単な確認問題です。
- ④ **Key Expressions** : モデル文中に含まれる重要表現を取り上げ, 簡単な解説を付けています。
- ⑤ **Task 2** : 自分のことに関する英問英答の問題です。まとまった文章を書くための準備の段階の活動です。
- ⑥ **Goal** : Task 2 の内容を使ってまとまった文章を書く活動です。
- ⑦ **TRY** : 書いた内容について話し合ったり発表したりする活動につなげます。

4. 課末

The screenshot shows a lesson page with the following components:

- What do you think?**
 - Discuss the following question.
 - What is an effective way of making friends?
 - Why is it effective, in your opinion?
 - Share your opinions with your partner.
- Examples:**
 - I think using social media sites is a good way to make friends. You can easily communicate...
 - You can make friends by joining a club. People in the same clubs are sure to have the same interests...
- effective ways of making friends**
 - join a club [a volunteer group / a soccer team / an orchestra]
 - talk to someone who has the same hobbies
 - communicate with people around the world
 - using social media
 - play online games
- Self-review**

	Excellent (5+)	Good (4)	Need to improve (3-)
A. Speak (Interaction)	適切な言葉を使って、クラスメートとインタビューをし合うことができました。	クラスメートとインタビューをし合うことができたが、適切な言葉を使えなかった。/ 適切な言葉を使おうとしたが、うまくできなかった。	クラスメートとインタビューをし合うことができなかった。
B. Speak (Presentation)	約30秒で数回プレゼンテーションすることができた。	プレゼンテーションはできたが、時間短縮できた。または短縮できなかった。	約30秒で数回プレゼンテーションすることができなかった。
C. Write	適切な文章を使って約50語で自己紹介文を書くことができた。	約50語で適切な文章を書くことができたが、適切な文章を使えなかった。/ 適切な文章を使ったが、適切な文章を使えなかった。	約50語で自己紹介文を書くことができなかった。

- ① **What do you think?** : ディベートやディスカッションにつながる活動です。日常的なものから社会的なものまでさまざまなテーマを扱います。二次元コードからテーマ解説スライドを見ることが出来ます。
- ② **語句・表現例** : テーマに関して自分の意見を言うための支援となる語句や表現をまとめています。
- ③ **CAN-DO Self-review** : 導入のページで提示した目標の到達度を確認できるチェックリストを設けています。

B. その他

1. 前見返し：授業中に使える英語表現の一覧です。二次元コードから、ペアワークやプレゼンテーションで使われる表現の実演動画を見ることができます。
2. はじめに：英語の語順と品詞について簡単に解説しています。
3. パラグラフ・ライティングの基本：論理的なパラグラフの展開の仕方を簡単に解説しています。
4. ディベートの進め方／ディスカッションの進め方：簡単な説明と使用される語句の例などを示しています。
5. **Expressions Plus**：正課の Key Expressions で取り上げた表現と関連する事項をまとめています。
6. **Useful Expressions**：各課のテーマに関連する語句を一覧にしています。表現活動をする際に役立てることができます。
7. 後見返し：各課の主な問題指示文の内容をまとめています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
前見返し Classroom English	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	前見返し I・II	—
はじめに	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	4～7ページ	2
Lesson 1～15	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 話すこと [やり取り] イ 話すこと [発表] ウ 書くこと ② 言語の働きに関する事項 内容の取扱い コミュニケーションを図る資質・能力を育成するためのこれまでの総合的な指導を踏まえ、話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを表現したり伝え合ったりする能力の向上を図るように指導するものとする。	内容 (1) Key Expressions (10, 12ページほか) (2) Model Dialog/Model Passage (10, 12ページほか) Task 1 (11, 12ページほか) Task 2 (11, 13ページほか) Goal (11, 13ページほか) TRY (11, 13ページほか) (3) ① Task 2 (11, 13ページほか) Goal (11, 13ページほか) TRY (11, 13ページほか) ② Key Expressions (10, 12ページほか) 内容の取扱い Task 2 (11, 13ページほか) Goal(11, 13ページほか) TRY (11, 13ページほか)	60
パラグラフ・ライティングの基本	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項	99～100ページ	2

	(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ウ 書くこと		
ディベートの進め方 ディスカッションの進め方	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 話すこと [やり取り] イ 話すこと [発表]	101～102ページ	2
Expressions Plus	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項	103～117ページ	—
Useful Expressions	内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項 (3) ② 言語の働きに関する事項	118～126ページ	—
後見返し English Directions in This Textbook	内容 (3) ① 言語活動に関する事項 ア 話すこと [やり取り] イ 話すこと [発表]	後見返しⅢ	—
		計	66